

**「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分
研究開発の技術的信頼性の評価」** [抜粋]

(2000 年 10 月 11 日 原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会)

(1) 地層処分の技術的信頼性について

1) わが国の地質環境

(中略)

わが国においても地層処分にとって安定で、適切な地質環境を有する地域が存在しうることが示されており、そのような地質環境を選定するために必要となる調査手法や調査機器についても、その技術的基盤が整備されていると判断できる。

2) 地層処分の工学技術

(中略)

安全を確保するための信頼性の高い処分場についての設計要件が提示されていることから、処分場の設計に当たって、その地質環境に特有な条件を抽出して詳細な検討を行なうことによって、現実的な工学技術により合理的に処分場を構築できる見通しが得られたものと判断できる。また、処分場の管理についても、建設、操業、閉鎖の各段階において取得すべき情報及び計測項目について具体的に検討が行なわれており、処分場の管理に関する技術的基礎は整ったものと判断できる。

3) 地層処分システムの安全評価

(中略)

場所を特定しない現段階において、わが国の地質環境や現状技術を前提条件として、ニアフィールド性能を中心に地層処分システムの安全性を評価する手法が整備されており、かつ解析評価の結果から地層処分の安全性が確保できる見通しが示されていると判断できる。

今後の取組にあたって

(中略)

第2次取りまとめにおいて地層処分の技術的信頼性が示されていると評価するが、高レベル放射性廃棄物の地層処分は、国民の理解と信頼を得つつ進められていくべきものであり、引き続き、第2次取りまとめの成果を踏まえた技術開発課題への取組や基礎的な研究開発の継続などを通じて地層処分の技術的信頼性をさらに向上させることに努めることが重要である。

(注) 下線はNUMOで記載